

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 木曜日・2校時	必修選択 選択	単位数 2 単位
授業科目 (英語名)	フランス学 (French Studies)		
対象年次 1-2 年次	講義形態	講義	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類	総合科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー			
<p>正本 忍 / masamoto@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部4階 406 / 819-2742 / 金曜日 14:00~15:00</p>			
担当教員(オムニバス科目等)	大橋絵理 (大学教育機能開発センター)、井田洋子 (経済学部)、渡辺=モレ・オディール (大学教育機能開発センター)		
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義のねらい 中世から現代に至るまでヨーロッパそして世界の政治や文化をリードし続けるフランスについて、基礎的かつより包括的な知識を得ることが本講義のねらいである。 ・ 講義方法 フランスを研究対象とする4名の教員によるオムニバス形式で行う。 ・ 到達目標 フランスの政治、経済、社会、文化、言語、歴史、伝統、地理などについて、ニュースや新聞に取り上げられる話題に抵抗なく入っていける程度の知識を得ることを目標とする。 			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) <p>テーマ：フランス学 各回のテーマと担当者は以下の通り。</p> <p>1回目 フランスってどんな国? (10月1日: 正本)</p> <p>2回目 フランス語事始め (10月8日: 大橋)</p> <p>3回目 『星の王子様』を読む (10月15日: 大橋)</p> <p>4回目 19世紀のフランスを覗いてみよう (10月22日: 大橋)</p> <p>5回目 ペタンクをしよう (10月29日: 正本、大橋) *雨天順延</p> <p>6回目 フランス観光案内 (11月5日: 正本)</p> <p>7回目 フランス史概説(前近代) (11月12日: 正本)</p> <p>8回目 フランス史概説(近現代) (11月19日: 正本)</p> <p>9回目 フランス料理の愉しみ (11月26日: 渡辺=モレ)</p> <p>10回目 フランス映画の愉しみ(映画鑑賞) (12月3日: 正本、大橋)</p> <p>11回目 フランス憲法と日本国憲法 (12月10日: 井田)</p> <p>12回目 フランスの政治・経済事情 (12月17日: 井田)</p> <p>13回目 フランス社会とライシテ(政教分離) (1月14日: 井田)</p> <p>14回目 フランスとヨーロッパ連合(1月21日: 井田)</p> <p>15回目 総括・試験 (2月4日: 正本、大橋)</p>			
キーワード	フランス、言語、文学、文化、歴史、ライシテ、政治、経済		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。参考文献(福井憲彦編『フランス史』山川出版社、2001年など)は講義中に紹介する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(100%)。 ※出席は受験資格の確認のためにのみ用いる。		
受講要件(履修条件)	フランス、およびフランス語、フランス文化などに関心を持っていること。 講義中の私語、飲食、帽子の着用を厳禁する。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			